

# 平成 29 年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：21009  
学校名：札幌市立円山小学校

## 改訂のポイント

- 子どもの情意面に目を向けた実態把握と、授業改善。
- 付けたい力を具体化し、個々の実態に応じた指導の強化。

項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	<b>自ら動き出し、つながりを強める子ども</b>		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	<b>【昨年度の具体的な取組】</b> 「円山版 家庭学習のススメ」を設定し、宿題や家庭学習の在り方について共通理解を図った。	<b>【成果】</b> ⇒ 自分で計画・工夫をし、家庭学習をする子どもが増えた。	<b>【課題】</b> ○ 子どもによる差が広がるのではないかという危惧がまだある。
	思考力・判断力・表現力 等	<b>【昨年度の具体的な取組】</b> 授業研修と授業改善の充実（子どもが価値に向かい学び合う授業づくりを行い、研究会でご意見をいただいた）（最重点）	<b>【成果】</b> ⇒ 各担任の「確かな教材観による授業づくり」が進んだ。	<b>【課題】</b> ○ 児童の実態をとらえた迫るべき価値の適切かつ具体的な設定に取り組むこと。
	基礎的・基本的な知識及び技能	<b>【昨年度の具体的な取組】</b> 子どもに応じたきめ細やかな指導（TTや少人数指導等を活用した個に応じた支援）	<b>【成果】</b> ⇒ 複数の目で見取り、指導のあたることで子どもが自信をもち、安心して楽しく学習に向かうことができている。	<b>【課題】</b> ○ 困り感をもった児童以外の子どもへのかかわりも増やしていくこと。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	<b>【取組の共有】</b> 子どもの情意面に目を向けた授業づくりを行い、自信・自己肯定感を高め、自らアクティブに学ぶ子を目指す。		
	A「子どもが自ら考え、判断し、表現する学習活動」の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでの研究の成果を生かし、子どもの心を動かし続ける授業づくりを行う。</li> <li>○ 体験的・探究的で問題解決的な授業展開を工夫する。</li> <li>○ 子どもの知的好奇心を喚起し、子どもが表現したくなる授業・活用したくなる授業を展開する。</li> </ul>		
	B「自分への自信をもたせるきめ細かい指導」の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研究副主題を再設定し、期待感や見通し、自信をもって学習できる授業づくりを行う。</li> <li>○ TT・少人数指導・専科指導を、子どもの実態等総合的に判断して計画を立て、個に応じた指導の充実を図る。</li> <li>○ 系統性をしっかりとおさえた「子どもに身に付けさせる力」を明らかにし、それをさらに具体化した授業を行う。</li> </ul>		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 札幌市全体の共通指標の「学習などについてのアンケート」や学力・学習状況調査、「TT・少人数指導・専科指導アンケート」等を活用し、子どもの実態や思いから、指導法等を見直す。</li> <li>○ 年度初めに学力テストを実施し、子どもの学力を客観的にとらえて効果的な指導法を探る。</li> </ul>		